

福知山市立図書館

としょかんだより

No. 97

平成 26 年 6 月発行

中央館:TEL 22-3225 三和分館:TEL 58-4715 夜久野分館:TEL 37-1066 大江分館:TEL 56-1017
FAX 22-7118 FAX 58-4716 FAX 37-1066 FAX 56-1017

開館時間：10時～18時
(中央館は火～金：20時)
休館日：毎週月曜日、年末年始、その他臨時休館
(分館は国民の祝日、休日は休館)

6/21 (土) 中央館オープン!!!



ふくちやましりつとしょかんちゅうおうかん あたら
福知山市立図書館中央館が新しくオープンします。

ふくちやまえきたがわ まえ しみんこうりゅう
JR福知山駅北側ロータリーの前にできた「市民交流プラザふくちやま(ききょう)」の1階、2階が図書館になりました。

かい かい いっばんしょ じつようしょ ほか ちゅうがくせいじょう だい
1階には、こどものほん、えほん、2階には一般書・実用書その他、中学生以上の10代のみなさんのための「ティーンズ」コーナーがあります。

あたらし じどうかしだしき はい どうじつ じどうかしだしき ほん か ひと
新しく自動貸出機が入りました。当日、自動貸出機で本をお借りいただいた人に、オープン記念バッグをプレゼントします(先着800人限定)。

たのしいおはなし会スペシャル

とき 6月21日(土) 3回公演

① 午前11時30分～ ② 午後1時30分～ ③ 午後3時～

※状況により多少開始時間を変更する場合があります。

ところ 図書館中央館 おはなしのへや

内容 みかんの本文庫と淑徳高校生による絵本の読みきかせ、手あそび、人形劇など
対象 幼児～小学生 30人程度(先着順)

中央館オープン記念イベント

参加無料

拡大読書器の使い方講習会

とき 6月21日(土)

午前11時30分～午後3時の間 随時

ところ 図書館中央館 2階

内容 ロービジョンケアー

森田茂樹さんによる拡大読書器の

使い方の説明

オープン記念イベントについての問い合わせ

図書館中央館

TEL 22-3225 FAX 22-7118

図書館中央館は、当日午前11時30分

(オープンセレモニー終了後)から利用できます。

図書館だいすき

知っているようで、
知らないこともたくさん!
そんな図書館に
まつわるおはなしを集めました。

『こないかな、ロバのとしょかん』
(モニカ・ブラウン/文、
新日本出版社)

アナの村には、本が少ししかありません。毎晩弟にお話を聞かせているうち、とうとう全部読んでしまいました。

ある朝、ひづめの音で目が覚めたアナの前に、たくさんの本をのせた「ロバの図書館」が! 南アメリカのコロンビアにほんとうにある図書館と、本を待つ女の子の物語。

『本と図書館の歴史』
(モーリーン・サワノ文、西村書店)

世界で一番古い図書館は、いつどこにあったの? 本はどうやって作っていたの? 古代の図書館から電子図書館までさまざまな図書館の役割や、本の歴史などをわかりやすくイラストで紹介する一冊です。

『としょかんのよる』
(ローレンツ・パウリ/文、ほるぷ出版)

キツネに追われたネズミが逃げ込んだのは、図書館でした。文字も読めず、本や図書館のことも知らないキツネに、ネズミは「この絵本おもしろいよ」と教えます。

さらに、図書館の使い方やマナーまで。読書を通してキツネの世界は広がっていくのでした。



7月のイベント

中央館 夏のおはなし会スペシャル(幼児～小学生) 12日(土) 14:00～
おはなしのひろば(幼児) 2日(水) 9日(水) 16日(水)

① 10:30～② 11:30～

えほんのへや【だっこクラス】(4カ月～10カ月児) 23日(水)

【よちよちクラス】(11カ月～1歳児) 24日(木)

① 10:15～② 11:15～

※「えほんのへや」各先着20組(申込不要)

工作教室(幼児～小学生) 30日(水) ① 11:00～② 14:00～

※「工作教室」は先着20人(申込不要)

三和分館 おはなし会(幼児) 25日(金) 10:30～

夜久野分館 夏のおはなし会スペシャル(幼児～小学生) 20日(日) 13:30～

大江分館 おはなしのへや(4カ月～1歳児) 3日(木) 11:00～

※「おはなしのへや」は申込必要6月19日(木) 10:00受付開始

おはなし会(幼児～小学生) 19日(土) 10:30～

- ★福知山市立図書館の利用券は4館共通です。
- ★中央館、三和分館、夜久野分館、大江分館、どの館でも貸出・返却ができます。
- ★平成23年3月から共通カードに変わっています。旧カードをお持ちの方は、カウンターでおたずねください。

おすすめの本（児童）

『ほうれんそうはなっています』

（長谷川 義史／絵，ポプラ社）

「おいしくなあれ」おじさんやおばさんがいっぱい声をかけてくれ、ぼくら（ほうれん草、米もかれいも・・・）こんなに大きくなったよ。でも、あの日ナニカが降ってきたから、もう食べてもらえない。原発事故がもたらす大きな哀しみ、痛みを伝える絵本。

『食べられたがる果物のヒミツ』

（盛口 満／文・絵，少年写真新聞社）

動物や鳥に食べてもらい、種子を運んでもらうために、甘くなったりいいにおいを出したりして“食べられたがっている”果物。イチゴやリンゴなど、身近なものから珍しいものまで、いろいろな果物の葉っぱや種のヒミツをイラストで紹介。

『ハヤト、ずっといっしょだよ』

（井上 こみち／著，アリス館）

幼い頃からの夢をかなえて乗馬クラブで働き始めたマキ。そこで出会った1頭の馬ハヤト。周囲に心を閉ざしているハヤトにマキは強くひかれ、ひきとることに。様々な障害を粘り強く乗り越えていくマキの姿がすがすがしい。馬と心を通わせ、共に生きぬいた感動の物語。

『おばあちゃんは大どろぼう?!』

（デイヴィッド・ウォリアムズ／作，小学館）

みなさんにとって、おばあちゃんはどうな存在ですか？「超たいくつ」だと思っていたベンのおばあちゃんは、なんと！？大どろぼうだったのです！イギリスの有名なお笑い芸人が書いたハラハラドキドキの大冒険物語。

おすすめの本（ティーンズ）

『東海道中膝栗毛』

（越水 利江子／著，岩崎書店）

親から継いだ大店をつぶした若旦那の弥次さんと、一文無しになった若旦那についてきた元旅役者の北八。ふたりは厄を落とすため、東海道を通ってお伊勢参りへ向かいますが…。原作のエピソードをできるかぎり盛り込んでまとめた、弥次北コンビの珍道中！

『なないろレインボウ』

（宮下 恵菜／著，ポプラ社）

虹を見るのが好きな、七海というは。不安だらけでスタートした中学生活だけど、ふたり一緒にいると輝きが増してくる。でも、親友だからこそ心がすれ違ってしてしまうこともあって…。

女の子同士の友情を繊細かつリアルに描いた青春ストーリー。

『14歳、ぼくらの疾走』

（ヴォルフガング・ヘルンドルフ／作，小峰書店）

理想と現実のギャップに悩み、毎日が退屈な生活を送っているマイク。そんな彼の日常に、とつぜん入り込んできた不良少年チック。なりゆきで旅に出ることになり戸惑っていたマイクだが、チックの自由気ままな性格にだんだんと好感をもちはじめ…。

『中高生のための「かたづけ」の本』

（杉田 朋子，佐藤 剛史／著，岩波書店）

何がどこにあるかわからない、いつもモノ探しから始まる…そんな毎日を何とかしたいあなたへ贈る、かたづけ力アップのための一冊。すべて出す→分ける→選ぶ→収める、この四つのステップで、かたづけ力だけでなく、よりよく生きる知恵と力を身に付けよう！